

鏡川流域パートナーシップだより No.32 R5.1.31



鏡川流域
パートナーシップ
KAGAMIKAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

カフェで寒ブリをいただきます！鏡川流域関係人口講座受講生と大学生の交流！



1月28日(土)に、高知大学のすぐ近くのカフェ「**cafe 'satobito**」で、寒ブリを捌くイベントが開催されました！cafe 'satobitoは、高知大学の学生・教授が運営するカフェ。現在は休業中ですが、まちのコイン「ぼっちり」のスポットとして体験チケットを発行したり、朝の勉強会を実施したりして、多くの人の交流を生み出す楽しい取組を実施しています！



今回のイベントは、高知市内のとある高校教師が「寒ブリを捌いてみたい！」と希望したことがきっかけで誕生！この先生は、cafe 'satobitoの朝の勉強会に何度も参加し、「ぼっちり」の体験チケットも利用してくださっていました。そんなご縁もあり、cafe 'satobitoが先生の希望を体験チケット化。「ぼっちり」のアプリなどで参加者を募り、当日は高知大学生をはじめ多くの参加者が集まりました！鏡川流域内関係人口講座の受講生も数名参加し、捌きたての寒ブリなどをいただきながら学生の皆さんと交流していました♪



「**ぼっちり**広報部」の高知大学生、小椋将史さんと畑田越さんも参加！お2人はいつも「ぼっちり」のオンライン交流会のスタッフやSNSの広報担当として、鏡川流域関係人口の取組を盛り上げてくれています！



夢産地とさやま開発公社さんの商品「土佐山ジンジャーエール」で乾杯。鏡川上流域の美味しいものを下流域の学生さんたちと一緒にいただきました♪

鏡川流域関係人口創出事業にご寄附をいただきました！



1月27日(金)に、鏡川流域関係人口創出事業に対してあいおいニッセイ同和損害保険高知支店様からご寄附いただいたことについて、岡崎高知市長から感謝状が贈呈されました。

同社の海野雅敬支店長は「ぼっちり」の取組にも理解を示してくださり、さっそく贈呈式の会場でアプリのインストールやチェックイン機能の利用などをしていただきました。

鏡川流域における相互連携の関係を生かした鏡川流域関係人口創出事業は、SDGsやESGの活動に取り組む企業さまにも評価していただき、様々な官民連携事業につながっています。企業版ふるさと納税など、連携をご希望の企業さまはぜひお声がけください！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android